

6 米

(1) 国際的な米需給の概要

○2009/10年度の米需給（予測）のポイント

米の供給面では、中国、タイ、インド、ベトナム等で増産される見込みであり、世界の生産量も増加が見込まれている。

需要面では、中国、バングラデシュ、インド等で消費量が拡大し、世界の消費量も増加が見込まれている。

期末在庫量については、昨年に引き続き生産量が消費量を上回ることから在庫が積み増しされ、期末在庫率も上昇すると見込まれる。

【生産量】

生産量は、中国、タイ、インド、ベトナム等で増加し、世界全体では前年度より4.3百万トン増加（1.0%）し、449.0百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン上方修正されており、国別には、中国、ベトナムで上方修正、インドネシア、フィリピンで下方修正された。

【消費量】

消費量は、中国、バングラデシュ、インド等で増加し、世界全体では前年度より7.4百万トン増加（1.7%）し、443.4百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体でわずかに下方修正されており、国別には、インド、インドネシア、フィリピンで上方修正され、ミャンマーで下方修正された。

【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より1.5百万トン増加（5.3%）し、30.2百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではベトナム、パキスタン等で輸出量の減少が、インド、エジプト、中国等で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国ではフィリピン、ナイジェリア、EU等で輸入量の増加が、マレーシア等で減少が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体では0.5百万トン上方修正され、国別には、輸入についてフィリピンで0.7百万トン上方修正され、輸出について米国で0.1百万トン上方修正された。

【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから、中国、インド、タイ等で積み増しされ、世界全体では前年度より5.6百万トン増加（6.3%）し、94.5百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は21.3%まで回復する見込みである。

なお、前月からの改訂は、世界全体で0.5百万トン下方修正され、国別には、中国、フィリピンで上方修正され、インド、ベトナムで下方修正された。

表－1 世界の米需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	433.4	444.7	449.0	0.5	1.0
中国	129.9	134.3	135.1	0.7	0.6
インド	96.7	99.4	99.5	-	0.1
インドネシア	37.0	38.3	37.6	-	▲ 1.8
バングラデシュ	28.8	31.0	31.0	-	0.0
ベトナム	24.4	23.7	23.8	0.0	0.6
タイ	19.3	19.4	20.0	-	3.1
フィリピン	10.5	10.8	10.7	-	▲ 0.4
消 費 量	428.2	436.0	443.4	▲ 0.0	1.7
中国	127.5	129.3	131.9	-	2.0
インド	90.5	92.9	93.5	0.5	0.7
インドネシア	36.4	37.6	37.7	0.3	0.1
バングラデシュ	30.7	31.0	31.8	-	2.6
ベトナム	19.4	19.2	19.2	-	0.0
フィリピン	13.5	13.7	13.5	0.1	▲ 0.8
ミャンマー	10.2	9.8	10.0	▲ 0.5	2.1
貿 易 量	31.2	28.7	30.2	0.5	5.3
(輸出)					
タイ	10.0	8.5	8.5	-	0.0
ベトナム	4.7	5.5	5.0	-	▲ 9.1
インド	4.7	2.5	4.0	-	60.0
パキスタン	3.0	3.7	3.3	-	▲ 10.8
米国	3.4	3.1	3.2	0.1	1.3
中国	1.0	0.8	1.3	-	62.5
エジプト	0.8	0.3	0.9	-	200.0
(輸入)					
フィリピン	2.6	2.0	2.4	0.7	20.0
イラン	1.5	1.7	1.7	-	14.3
ナイジェリア	1.8	1.4	1.6	-	19.0
サウジアラビア	1.0	1.4	1.4	-	0.7
EU-27	1.6	1.1	1.3	-	0.0
イラク	1.0	1.0	1.1	-	7.5
マレーシア	0.8	1.0	0.8	-	▲ 18.6
期末在庫量	80.2	88.9	94.5	▲ 0.5	6.3
中国	37.6	42.2	44.5	0.1	5.5
インド	13.0	17.0	19.0	▲ 0.5	11.8
インドネシア	5.6	6.6	6.8	-	3.1
タイ	2.2	3.1	4.2	-	35.6
フィリピン	4.4	3.5	3.1	0.1	▲ 12.4
日本	2.6	2.7	2.7	-	0.4
ベトナム	2.0	1.4	1.5	▲ 0.3	3.1
期末在庫率	18.7%	20.4%	21.3%	▲ 0.1	0.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、
「PS&D」

(2) 米の主要生産・輸出国等の需給状況

ア 中国

【需給状況】

中国の生産量は、単収は減少するものの、収穫面積が増加すると見込まれていることから、前年度より0.8百万トン増加（0.6%）し、135.1百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より2.6百万トン増加（2.0%）し、131.9百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン増加（62.5%）し1.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は2.3百万トン増加（5.5%）し、44.5百万トンとなり期末在庫率も33.4%（1.0ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月予測からの改訂は、2007/08年度の生産量が0.4百万トン下方修正、2008/09年度の実績が0.8百万トン、輸出量が0.5百万トン下方修正されたことから、2009/10年度の期首在庫が0.7百万トン下方修正されるとともに、生産量が0.7百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量は0.1百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

南部の海南省では、早場米（インディカ米）の刈り取りが終わり、今年の収穫量は昨年より増加すると見込まれる。また、雲南省と浙江省でも早場米の収穫が始まり、まもなく新米が市場に出回る。

【貿易情報等】

中国については、2007年12月に増値税の輸出還付を取り消し、2008年1月から輸出税を賦課していたが、輸出税については2009年7月1日に撤廃された。また、以前より輸出割当許可証管理を行っている。

なお、中国政府は2009年度の作付けを推進させるために500万トンの備蓄を計画していたが、7月下旬から放出を開始した。

世界の生産量シェア	1位（2009/10年度30.1%）
輸出量シェア	6位（2009/10年度4.3%）

表－2 中国の米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	129.9	134.3	135.1 (133.4)	0.7	0.6
消費量	127.5	129.3	131.9 (127.2)	-	2.0
輸出量	1.0	0.8	1.3 (1.2)	-	62.5
輸入量	0.3	0.3	0.4 (0.9)	-	6.1
期末在庫量	37.6	42.2	44.5 (64.0)	0.1	5.5
期末在庫率	29.3%	32.4%	33.4% (49.8%)	0.0	1.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	28.92	29.40	29.80 (…)	0.20	1.4
単収(t/ha)	4.49	4.57	4.53 (…)	▲ 0.01	▲ 0.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

イ インド

【需給状況】

インドの生産量は、収穫面積の拡大が見込まれていることから、前年度より0.1百万トン増加（0.1%）し、99.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、引き続き増加傾向にあり、前年度より0.6百万トン増加（0.7%）し、93.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、1.5百万トン増加（60.0%）し、4.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は2.0百万トン増加（11.8%）し、19.0百万トンとなり、期末在庫率も19.5%（1.7ポイント増）に上昇する見込みである。

なお、前月からの改訂は、消費量が0.5百万トン上方修正されたことにより、期末在庫量が0.5百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度の米の生産量の内訳は、ラビ米（春夏期）が13.9百万トン、カリフ期（秋冬期）が85.5百万トンと推定されている。

7月17日時点の2009/10年度のカリフ米の作付推定面積は、昨年同期の14.5百万ヘクタールに対し11.5百万ヘクタールである。

なお、インド気象庁によると、米の産地の多くで6月以降、降水量が平年を下回り干ばつが懸念されていたが、その後大部分の産地で降雨に恵まれている。

【貿易情報】

インドについては、非バスマティ米の輸出が禁止されており、現在も継続しているが、非公式に特定の国に一部輸出されていた。なお、種子用の非バスマティ米に限り輸出禁止が2008年9月に解除された。また、米に輸出税を課していたが、2009年1月19日に撤廃された。

（世界の生産量シェア 2位（2009/10年度22.2%）
輸出量シェア 3位（2009/10年度13.2%））

表－3 インドの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	96.7	99.4	99.5 (99.5)	-	0.1
消費量	90.5	92.9	93.5 (92.6)	0.5	0.7
輸出量	4.7	2.5	4.0 (4.0)	-	60.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	...
期末在庫量	13.0	17.0	19.0 (18.5)	▲ 0.5	11.8
期末在庫率	13.7%	17.8%	19.5% (19.2%)	▲ 0.6	1.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	43.77	44.00	44.10 (...)	-	0.2
単収(t/ha)	2.21	2.26	2.26 (...)	-	0.0

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

ウ インドネシア

【需給状況】

インドネシアの生産量は、単収の増加が見込まれているものの、収穫面積の減少が見込まれることから、前年度より0.7百万トン減少（▲1.8%）し、37.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度並みの、37.7百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.1百万トン減少（▲14.3%）し、0.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.2百万トン増加（3.1%）し、6.8百万トンとなり、期末在庫率も18.1%（0.6ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月からの改訂は、2008/09年度の生産量が1.0百万トン、消費量が0.7百万トン上方修正されたことにより、2009/10年度の期首在庫が0.3百万トン上方修正されるとともに、消費量が0.3百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量には変動はなかった。

【貿易情報】

インドネシアについては、米の純輸入国であり主要な輸出国ではないが、2008年4月11日から輸出を禁止している。しかし、2008年の米の生産が豊作であったことを受け、政府は2009年4～6月に最大10万トンの高品質米の輸出を行うことを決定し、11社に輸出を許可した。なお、2009年7月から輸出は禁止されている。

エ タイ

【需給状況】

タイの生産量は、収穫面積の拡大と単収の増加が見込まれていることから、前年度より0.6百万トン増加（3.1%）し、20.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加（1.1%）し、10.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度並の、8.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.1百万トン増加（35.6%）し、4.2百万トンとなり、期末在庫率も22.3%（5.7ポイント増）まで回復する見込みである。

なお、前月からの改訂は、行われていない。

【生育進捗状況及び作柄】

農業協同組合省米穀局によると、7月初めから北部及び南部において洪水が発生し、収穫作業等に懸念がされている。

また、2009年度乾季作米の作付面積は2.0百万ヘクタールと見込まれており、生育ステージは、1%が分けつ期、11%が出穂期、88%が収穫期に入っている。また、2009/10年度雨季作米については、9.2百万ヘクタールになると推定されており、現在すでに3.3百万ヘクタールの作付けが確認されている。

【貿易情報等】

タイとベトナムの米輸出団体は、米貿易での協力体制を強め、世界市場での交渉力の強化を目的とした合意書を取り交わした模様。協力内容は、主に生産状況や生産技術情報の交換等とされている。

〔世界の生産量シェア 3位（2009/10年度 8.4%）〕

表－4 インドネシアの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	37.0	38.3	37.6 (38.4)	-	▲ 1.8
消費量	36.4	37.7	37.7 (37.7)	0.3	0.1
輸出量	0.0	0.0	0.0 (0.1)	-	▲ 100.0
輸入量	0.4	0.4	0.3 (0.2)	-	▲ 14.3
期末在庫量	5.6	6.6	6.8 (3.4)	-	3.1
期末在庫率	15.4%	17.5%	18.1% (9.0%)	▲ 0.1	0.5
(参考)					
収穫面積(百万ha)	11.90	12.17	11.85 (…)	-	▲ 2.6
単収(t/ha)	3.11	3.15	3.17 (…)	-	0.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

〔世界の生産量シェア 6位（2009/10年度 4.5%）
輸出量シェア 1位（2009/10年度28.1%）〕

表－5 タイの米需給（市場年度：翌年1月～翌年12月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	19.3	19.4	20.0 (20.6)	-	3.1
消費量	9.6	10.3	10.4 (12.0)	-	1.1
輸出量	10.0	8.5	8.5 (8.3)	-	0.0
輸入量	0.0	0.3	0.0 (0.2)	-	▲ 96.7
期末在庫量	2.2	3.1	4.2 (4.7)	-	35.6
期末在庫率	11.3%	16.6%	22.3% (23.2%)	-	5.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	10.60	10.68	10.72 (…)	-	0.4
単収(t/ha)	1.82	1.82	1.87 (…)	-	2.7

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」
FAO 「Food Outlook (June 2009)」

オ ベトナム

【需給状況】

ベトナムの生産量は、単収が昨年度より上昇すると見込まれることから前年度より0.1百万トン増加（0.6%）し23.8百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度並の19.2百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン減少（▲9.1%）し、5.0百万トンとなる見込みである。一方輸入量は前年度並の0.4百万トンとなる見込みである。この結果、期末在庫量は0.1百万トン増加し、1.5百万トンとなり、期末在庫率も6.1%（0.3ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月からの改訂は、2008/09年度の実産量が0.0百万トン下方修正、輸出量が0.3百万トン上方修正されたことにより、2009/10年度の期首在庫が0.3百万トン下方修正されるとともに、生産量が0.0百万トン上方修正された。この結果、期末在庫量が0.3百万トン下方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

2009年の冬春作は豊作で、収穫量が前年を0.3百万トン上回る18.60百万トンであった。

南部の省での冬春作収穫量は、11.80百万トンに上った。そのうちメコンデルタ地方の省では、概ね刈り取り作業が終了し、9.9百万トンを収穫している。

北部の省での冬春作収穫量は、6.8百万トンに上った。

【貿易情報等】

ベトナムについては、政府契約以外の輸出業者による新規輸出契約を停止していたが、2008年6月13日からこれを解除した。また、8月15日からは、一定基準の輸出価格を超えた場合に輸出税が賦課されていたが、12月19日に課税が停止された。

なお、ベトナムとタイの米輸出団体は、米貿易での協力体制を強め、世界市場での交渉力の強化を目的とした合意書を取り交わした模様。協力内容は、主に生産状況や生産技術情報の交換等とされている。

カ フィリピン

【需給状況】

フィリピンの生産量は、収穫面積の減少が見込まれていることから、前年度より0.1百万トン減少（▲0.4%）し、10.7百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン減少（▲0.7%）し、13.6百万トンとなる見込みである。

輸入量は、前年度より0.4百万トン増加（20.0%）し、2.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、0.4百万トン減少（▲12.4%）し、3.1百万トンとなり、期末在庫率も22.8%（3.0ポイント減）と低下する見込みである。

なお、前月からの改訂は、2007/08年度の実産量が0.1百万トン下方修正、2008/09年度の実産量が0.2百万トン、消費量が0.5百万トン上方修正されたことにより、2009/10年度の期首在庫量が0.5百万トン下方修正されるとともに、消費量が0.1百万トン、輸入量が0.7百万トン上方修正された。この結果、2009/10年度の期末在庫量が0.1百万トン上方修正された。

（世界の生産量シェア 5位（2009/10年度 5.3%）
輸出量シェア 2位（2009/10年度16.5%）

表－6 ベトナムの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	24.4	23.7	23.8 (26.0)	0.0	0.6
消費量	19.4	19.2	19.2 (20.5)	-	0.0
輸出量	4.7	5.5	5.0 (5.0)	-	▲ 9.1
輸入量	0.3	0.4	0.4 (0.2)	-	0.0
期末在庫量	2.0	1.4	1.5 (4.8)	▲ 0.3	3.1
期末在庫率	8.4%	5.8%	6.1% (18.8%)	▲ 1.2	0.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.41	7.34	7.29 (…)	0.02	▲ 0.7
単収(t/ha)	3.29	3.22	3.26 (…)	▲ 0.01	1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」、
FAO「Food Outlook (June 2009)」

（世界の生産量シェア 7位（2009/10年度 2.4%）
輸入量シェア 1位（2009/10年度 7.5%）

表－7 フィリピンの米需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(FAO)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	10.5	10.8	10.7 (11.3)	-	▲ 0.4
消費量	13.5	13.7	13.6 (13.5)	0.1	▲ 0.7
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
輸入量	2.6	2.0	2.4 (2.4)	0.7	20.0
期末在庫量	4.4	3.5	3.1 (2.1)	0.1	▲ 12.4
期末在庫率	32.7%	25.8%	22.8% (…)	0.5	▲ 3.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.35	4.53	4.45 (…)	-	▲ 1.8
単収(t/ha)	2.41	2.37	2.41 (…)	-	1.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」、
「World Agricultural Production」、
FAO「Food Outlook (June 2009)」